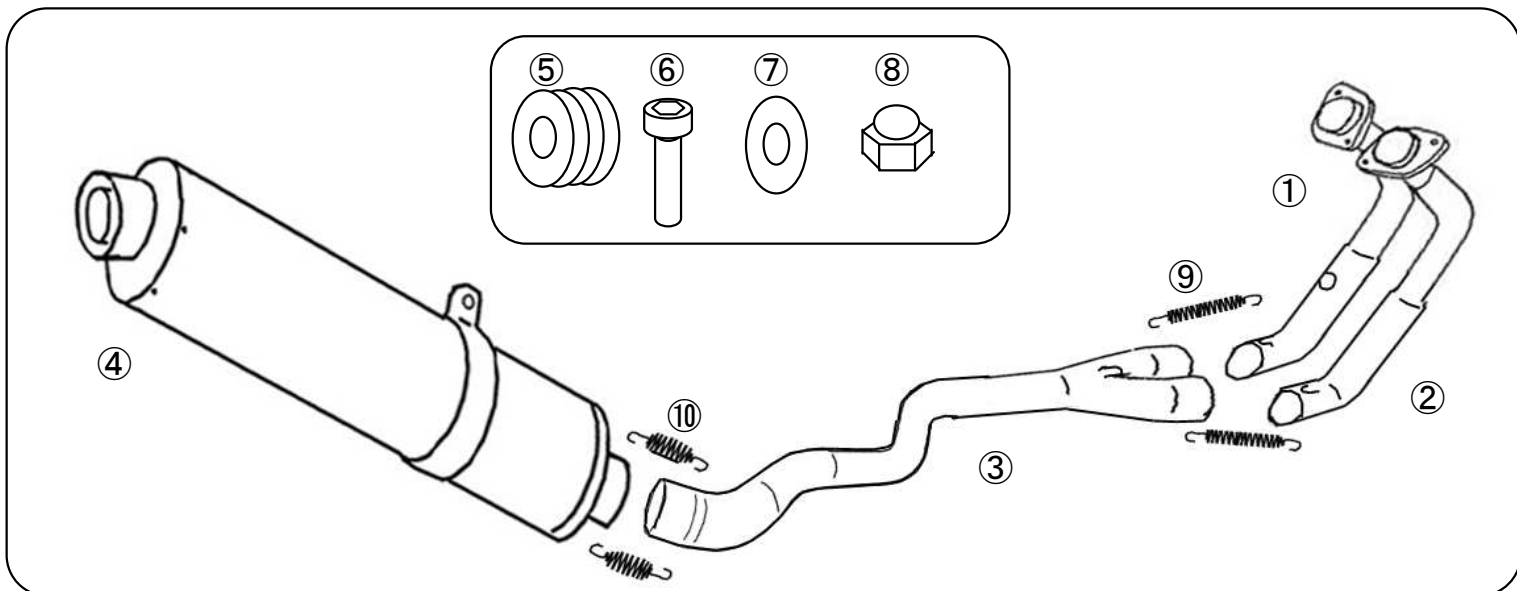


この度は、弊社製品をお買い上げ頂き誠にありがとうございます。

取り付けに関しましては、メーカー発行のサービスマニュアル及び当説明書の指示に従って作業を行って下さい。作業は必ずエンジンが冷えた状態で、且つ車体が安定した状態で行って下さい。このマフラーは、Ninja250/ABS(JBK-EX250L:国内)用の商品です。その他の機種(車両型式・仕向け地)に関しては、取り付け確認及び法規対応の確認を行っておりませんのでご注意ください。(最新の適合情報はノジマホームページ <http://www.nojima-japan.co.jp>にてご確認下さい)

取り付け作業に関して、ご不明な点などございましたら、当社までお問い合わせ下さい。



1) 純正マフラーの取り外し

純正カウル類を取り外し、純正マフラーを取り外します。
一部のボルトナット類はノジママフラーを取り付ける際にも使用します。
部品の紛失にご注意下さい。
※マフラー・その他純正パーツの脱着方法に関してはメーカー発行のサービスマニュアルの指示に従って作業を行ってください。
※O2センサーはノジママフラーでも使用します。

2) EXパイプ・テールパイプの取付け

純正のフランジナットを用いて①EXパイプ#1・②#2を取り付けます。

・この時点ではナットは仮留めにしておきます。

・O2センサーはEXパイプ#1のボスに取り付けます。

次に③テールパイプをEXパイプ#1・#2に組み付け、⑨スプリングを掛けます。

エンジンその他と干渉の無いことを十分ご確認ください。

※O2センサーの配線が突っ張ったり振れたりしない様ご注意ください。断線・その他不具合の原因になる場合があります。

※EXガスケットはマフラー脱着毎の交換を推奨します。

※各差込部には排気漏れ防止の為、シリコンボンド等を薄く塗布する事をお勧めします。

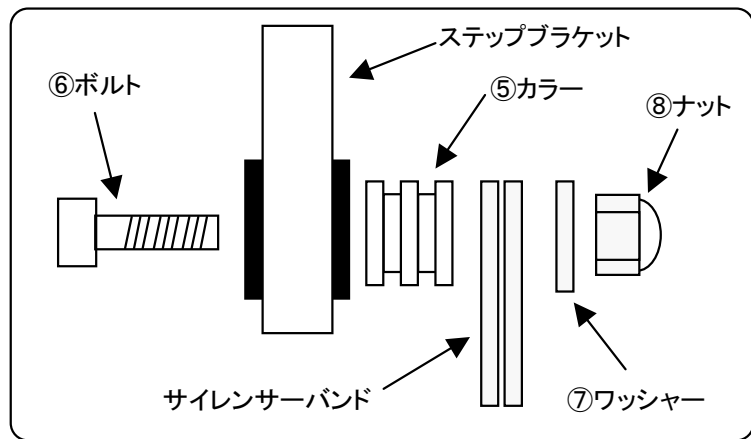
パーツリスト(梱包内容)

図番	パーツ名	数量
①	EXパイプ #1	1
②	EXパイプ #2	1
③	テールパイプ	1
④	サイレンサー	1
⑤	カラー	1
⑥	ボルト M10-75mm	1
⑦	ワッシャー M10	1
⑧	袋ナット M10	1
⑨	スプリング ゴム付 L82	2
⑩	スプリング ゴム付首振り L60	2



3) サイレンサーの取付け

サイレンサーをテールパイプに差し込み、⑤カラー・⑥ボルト・⑦ワッシャー・⑧ナットを用いてサイレンサーバンドで仮留めし、⑩スプリング(首振り)を掛けます。マフラー各部に無理な力が掛かっていないこと、車体各部との干渉がない事を確認し、必要があれば調整を行いながら仮止めしたボルトナットを本締めします。締め込み具合により車体とのクリアランスが変化する場合がありますので、注意して下さい。



※図は車体後方から見た図です。模式図の為、ボルト・ナット等の形状が実際とは異なります
※サイレンサー差込み部には排気漏れ防止の為、シリコンボンド等を薄く塗布する事をお勧めします。
※スプリングはペンチ等を用いて作業すると折損の原因になりますので、必ずスプリングフック等をご使用下さい。

4) 最終確認・カウル取り付け

マフラーに付着した汚れをよく拭き取った上でエンジンを始動し、排気漏れ等がない事を確認します。必要に応じて修正を行い、排気漏れ等の無い事が確認できたら初めに取り外したカウル類を元通りに取り付け、再度各部に干渉の無い事を確認します。※パイプに皮脂などの油分が付着したまま熱がかかると焼けムラ・変色の原因になります。必ず十分脱脂を行って下さい。

5) セッティングについて

このマフラーはすべてスタンダードの状態では性能を発揮するよう設計されておりますので、基本的にセッティングは不要です。(より突き詰めてセッティングを行う事でより良い結果を得られる場合はございます)



- グラスウール(消音材)は消耗品です。主な消耗の例としては、「排気圧によるグラスウールの飛散」、「カーボン(スス)の堆積による目詰まり」、「水分を含む事による消音能力の低下」、等があり、消耗の進み方は走り方や環境によって大幅に変わります。グラスウールの飛散はほぼ使用期間に比例しますが、その他のケースは使用状況によってはごく短期間で発生する場合があります。主な原因は吸気系/点火系の不具合や乗り方によるカブリ症状から起こるカーボンの堆積、雨水や燃焼時の水分が排出されずにいる事から起こる水分の滞留などです。カーボンの発生は定期的なメンテナンスやカブリさせない乗り方を意識する事で防ぐ事ができ、サイレンサー内に一時的に溜まった水分は、高回転域を使用する事で蒸発→排出されますので、定期的に適度に回して乗る事で解消する事ができます。(スピード違反を推奨するものではありません。安全に法令遵守の範囲でお願いします。)
グラスウールが消耗した状態での走行は周囲の迷惑になるだけでなく、マフラー及び車両の故障に繋がる場合がありますので、音量の増加等、グラスウール消耗の症状が表れた際はサイレンサーのオーバーホールサービス(有償)をご利用ください。
- 走行時、走行後は大変マフラーが高温になっています。火傷にお気を付け下さい。
- シンナー等の強力な有機溶剤は本製品には使用しないで下さい。
- 本製品はJMCAの認定を受け、排気ガス検査成績書を付属しております。大切な書類ですので無くさないように注意して管理してください。(再発行は有償となります)
- 転倒等に伴う修理に関しましては、状態によりお受けできる場合と出来ない場合がございます。電話・メール等にてお問合せ下さい。その他ご不明な点ありましたらお気軽にお問い合わせ下さい。